

# 夢をかなえる4C

2020年4月24日  
1年生 学年通信  
第7号



## 昔も今も・・・

みなさんは、「王様の耳はロバの耳」というお話を知っていますか。イソップ童話の中でも、有名な話の1つだと思います。知らない人のために、少しあらすじを紹介します。

あるところに、ロバの耳をもった王様がいました。王様は、自分の耳がロバの耳であることが恥ずかしくて、誰にも言わずに隠していました。しかし、髪を切る床屋には隠すことができず、耳のヒミツを知られてしまいます。「このことは、誰にも話してはいけません。もしも誰かに話したら、お前を処刑してやろう。」そう言われた床屋ですが、だんだんと秘密を人に話したい気持ちが強くなってしまい、自分を抑えることができなくなってしまいます。そこで床屋は、森の奥に行き、深い穴を掘ってそこに叫びました。「王様の耳はロバの耳！」すっきりした床屋は穴を埋め、気分よく家に帰ります。しかし・・・



この物語の続きには、様々なパターンがあります。でも、先生が話したいことはこの物語の終わりの面白さではありません。先生がこの童話を読んで一番感じたことは、「昔も今も、秘密は話してしまいたくなるものだ」ということです。

「あなたの好きな人は〇〇でしょ」と急に言われて、驚いたり、嫌な気持ちになったりしたこと、中学生であるみなさんなら1度2度、経験があると思います。「親しい人しか知らないはずなのに」「言わないって約束したのに」と後悔や怒りを感じたことでしょうか。秘密が秘密のままであることは難しいのだと、先生も学生の頃に思いました。

昔話では床屋は森に穴を掘りました。昔は近くに秘密を隠すことができるような場所は、なかなかなかったことでしょう。しかし、今は便利なものがあります。そう、携帯やスマホと言ったツールです。みなさんにとって、もしかして携帯やスマホは、床屋にとっての「穴」と同じように見えていませんか。そこに何を書いても相手に知られることはない、そう思っているいませんか。

最近、みなさんと同じ世代の携帯やスマホを持つ若者が、イジメを含む人間関係のトラブルに巻き込まれることが増えています。パソコンや携帯電話を使った小中学校・高校でのイジメは、2018年度には16000件を超えるなど、調査開始から現在まで増加し続けています。

その中で、特にトラブルの中心になっているのが「LINE」「インスタ」に代表されるSNSです。無料で通話ができたり、メッセージの送受信が簡単で手軽だったりとといった理由で、スマホを持つ10代の大多数がSNSを利用しています。このSNS、もちろん先に述べたような利便性の良さなどメリットもあるのですが、グループ作成の機能がイジメなどのトラブルに発展しやすいなどのデメリットもあります。ITジャーナリストの三上洋さんは「LINEは、最大200人のグループが作れるため、1人が悪口を言うと、1対多数のイジメになりやすい。例えるなら、教室の壇上でケンカするような感じになるため、周囲の人間への『どっちの応援する?』といった同調圧力が出来て、結果周りも加担するということになりやすい。」と、集団心理の怖さを指摘されています。また、「LINEのグループ機能が悪いというわけではなく、何か集まったときに、いない人の話題をするのと同じ。人の秘密や悪口をちょっと言うコミュニケーションがはかどるというのを、LINE上でやってしまう。それがエスカレートするとケンカになったりイジメになったりするのだと思う。」とも指摘されています。

うまく使いこなすことができれば便利な道具でも、使い方を誤れば自分自身や周りを傷つけてしまうこともあります。特に今は休校期間ということで、家で過ごす時間、ひいては携帯やスマホを使う時間が増えていないか心配です。この機会に、トラブルの被害者にも加害者にもならないよう、SNSの使い方を考え直す時間を設けてください。



## 保護者のみなさまへ

入学式で説明させていただいた「学年集金」についてお知らせします。

入学式の際には「5月から学年集金が始まる」と連絡しましたが、学校で協議し、5月の集金は学校全体で見合わせることにになりました。学年集金は、6月より開始する予定です。

口座の準備がお済みでないご家庭につきましては、ご準備をお願いいたします。